



## 7月20日(水)より 夏期講座 START!!

個人別の授業日程につきましては、個別に日程書をお渡ししますので、ご確認ください。調整が必要な場合は、お早めにご相談ください。

※8月12日(金)～14日(日)の期間は、お盆休みです。



### アクシア三択クイズ

【先月の正解】

『A』

「初」という漢字の部首名は「かたな」です

【今月の問題】

体重 60 キロの人の体内にある血液の量は？

A. 5 リットル B. 10 リットル C. 15 リットル

## 今月のTOPIX ～就職を見すえた大学選び～

### 【就職活動は大学選びから始まっている】

大学選びの際、最も重要なことは「学びたいこと」が学べるかどうかです。次いで重要なのは、大学での学びが将来の目標（就きたい職業）につながっているかです。志望校を検討した際、大学への合格実績を確認した人も少なくないでしょう。同じように、みなさんが受験しようとする大学が、将来の目標にあった学部や学科を設け、適切な「キャリア教育」を行っているかが大学選びの際にも重要となります。

### 【大学におけるキャリア教育】

では、「キャリア教育」とは何でしょうか。高校生の皆さんの多くは耳にしたことはあっても、なじみが薄いに違いありません。

ひと昔前は、多くの大学では企業から届く求人票は学内掲示のみにとどまり、どの企業に履歴書を提出するかは大学生本人に任されていました。しかし、バブル崩壊後に状況は一変し、卒業間近になっても就職先が決まらない学生が続出しました。

また、社会の多様化により、先に述べたように就職先のミスマッチが増え、早期に退職するものも増加しました。

そのため、学年が社会や自身の将来像について考える機会を与えるとともに、今後も想定される社会環境の変化に対応できる人材の育成が急務となりました。これがキャリア教育が必要となった大きな要因です。

大学が行うキャリア教育は2つあります。

1つは、個々の適性を知り就職の動機づけを行う低学年向けのキャリア支援です。具体的には、自己発見診断テストやインターンシップを通して多様な業種、職業を発見し、具体的な進路を検討する機会を用意することです。もう1つは、高学年向けの就職支援活動です。企業説明会やOB・OGによるガイダンスのほか、エントリーシートや論文・作文の書き方指導、面接対策、資格取得講座など、就職活動に不可欠な指導を行います。表1は立命大のキャリアセンターが行うキャリア支援の内容です。詳細は大きく、学部3～4年次・大学院1～2年次向けの「就職支援」、主に学部1～2年次を対象にした「キャリア支援」、

全学年を対象とした「インターンシップ」、「正課キャリア関連科目」の4つに分かれています。このように、興味・関心がある大学については、学びの内容に加えてキャリア教育に対する取り組みについても、入学案内やホームページ、オープンキャンパスを活用して確認を行いましょう。

### 【公務員試験は依然として狭き門】

業績が左右されやすい民間企業と比べて、公務員は業務内容・給与体系ともに安定しているイメージがあり、大学生の人気は高い水準があります。人事院が発表した「平成27年度国家公務員採用試験実施状況」によれば、申込者に対する合格率は総合職試験で5.7%、一般職試験では20.6%でした。特に総合職試験は人気が高く、合格率もかなり低い水準となっています。このような状況を受けて、在学生を対象とした公務員試験対策講座を実施している大学もあります。

### 【社会・企業に求められる人材】

景気が上向いてきたとはいっても、まだまだ厳しい就職状況の中で多くの大学生が就職活動に力を入れてきました。企業側からは、大学生が「厳しい状況の中で意欲的に就職活動を行っている」と評価する一方、「内定を得たいと焦るあまりに目的意識を失っている」との意見も多いです。

日本経済団体連合会の新卒採用に関するアンケート調査によると、2015年4月の採用では「コミュニケーション能力」を挙げている企業が約80%に上っており、以下、「主体性」、「チャレンジ精神」、「協調性」と続いています。つまり、「企業・社会の一員として周囲とのコミュニケーションをとることができ、自分のすべきことを主体的に考え行動ができるチャレンジ精神に富んだ人材」であることがうかがえます。

